

油状態診断システム サービス仕様書

2026年4月（第1.0版）
カヤバ株式会社



目次

1.	サービス概要	3
2.	サービス利用条件	4
3.	サービス内容	6
4.	サポート	7

0. はじめに

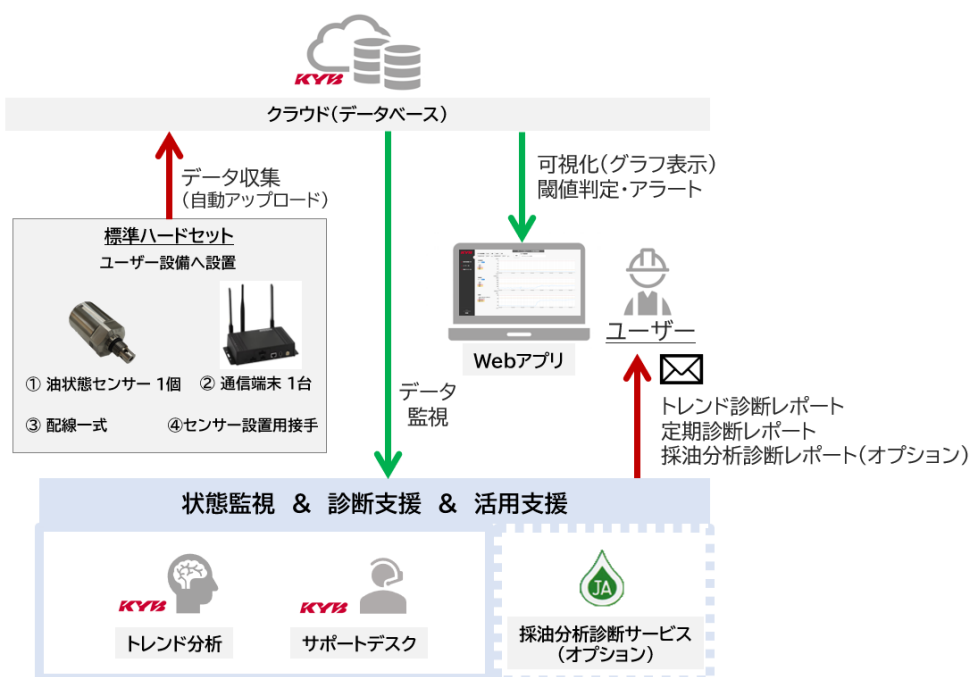
この油状態診断システムサービス仕様書（以下「本仕様書」といいます）は、カヤバ株式会社（以下「カヤバ」といいます）が提供する油状態診断システムのサービス（以下「本サービス」といいます）の提供内容、提供範囲、提供方法、提供水準、その他の諸条件を定めるものです。本仕様書はサービス内容の概要を示すものであり、稼働率・復旧時間・診断結果を保証するものではありません。本サービスの利用については、「油状態診断システム サービス利用規約」に従うものとします。なお、当該サービス利用規約において定義された用語は、本仕様書において別段の定めのない限り、本仕様書においても同様の意味に用いるものとします。この仕様書は予告なく改訂される場合があります。

1. サービス概要

1.1 サービスの概要

油状態診断システムとは、油状態センサー値の収集・可視化・閾値判定を自動で行い、カヤバの分析ノウハウに基づくトレンド診断や定期診断等の分析支援およびレポート発行を通じて、油の状態把握を支援するソリューションサービスです。

1.2 システム概要



※ 本図はサービスの構成および役割分担を示すものであり、診断結果や保全判断を保証するものではありません。

注意事項：

※ 油状態診断システムの利用には以下のハードウェアを監視対象機器へ設置が必要です。設置に際しては電源、設置環境、通信環境に条件があります。詳細は販売店にお問い合わせください。

- ・ 油状態センサー
- ・ 通信端末
- ・ 配線一式（電源ハーネス、センサーハーネス）
- ・ センサー設置用接手

※ 1 契約で監視対象機器 1 台のサービス利用が可能です。

※ 監視対象機器 1 台につき、通信端末 1 台設置が必要です。

1.3 使用機器の概要

本サービスで使用する油状態センサーおよび通信端末の概要は以下のとおりです。なお、以下は代表的な仕様を示すものであり、詳細な仕様や性能を保証するものではありません。

1.3.1 油状態センサー

油状態センサーは、作動油や潤滑油などの状態をオンラインで測定するためのセンサーです。本サービスでは、以下のようなパラメータを測定します。

- ・比誘電率
- ・導電率
- ・油温

油状態センサーは監視対象機器の油圧配管などに取り付けて使用し、測定したセンサー値を通信端末へ出力します。

1.3.2 通信端末

通信端末は、油状態センサーで測定したデータを収集し、当社指定のクラウド環境へ自動的にデータを送信するための専用端末です。通信端末は、センサー値の収集およびデータ送信を行い、ユーザーによる操作を必要とせず自動で動作します。

2. サービス利用条件

2.1 利用条件

- ・ SaaS 型のサービス提供となるため、お客様側でサーバー実行環境をご用意いただく必要はありません。
- ・ 本サービスの利用にあたり、以下が必要です。
 - 1.2 項に記載の油状態センサー、通信端末、配線一式、センサー設置用接手の監視対象機器への設置
 - カヤバからのメールを受信可能なメールアドレス
 - Web アプリ閲覧用のクライアント端末
 - Web アプリログイン時の認証に使用する SMS を受信できる端末

2.2 利用環境

2.2.1 油状態診断システム構成機器および使用環境条件

油状態診断システムの構成機器である、油状態センサーおよび通信端末は、油状態データを取得・収集するための専用機器であり、取得されたデータは通信端末を介して当社指定のクラウド環境へ送信されます。このため構成機器は、油状態診断システムの一部として使用されることを前提としており、構成機器単体での利用、性能保証、または第三者システムへの転用を目的としたものではありません。

a. 油状態センサー

油状態センサーの主な仕様は以下のとおりです。その他の詳細仕様やセンサーの寸法、設置上の注意点などは別紙の油状態センサー技術資料を参照ください。

項目	仕様
検出パラメータ	比誘電率、導電率、油温
サイズ	Φ42×89mm (コネクタ部除く)
取付部ねじサイズ	G3/8
電源電圧	DC9V～32V
耐圧力	1.0MPa
使用環境温度	-40℃～85℃
防塵防水	IP 67 相当

b. 通信端末

通信端末の主な仕様は以下のとおりです。その他の詳細仕様や通信端末の寸法、設置上の注意点などは別紙の通信端末技術資料を参照ください。

項目	仕様
サイズ	W171.9×D114.0×H42.5mm (突起物を除く)
通信方式	LTE
電源電圧	DC9V～32V
使用環境温度	-20℃～70℃
防塵防水	IP 40 相当 (屋内推奨)

2.2.2 クライアント端末 PC スペックやネット環境

- ・ クライアント端末の推奨動作環境は以下です。
 - Safari、Chrome、Firefox および、Edge ブラウザーで利用可能です。
 - 解像度(画面サイズ)は、1920×1080 を推奨します。
- ・ インターネットに接続できる環境である必要があります。
- ・ お客様のファイアウォール設定によっては、本サービスにアクセスできない場合があります。このような場合、ファイアウォール設定を変更して頂くことによって、ご利用可能になります。本サービスはポート 443 の HTTPS プロトコルで、下記ドメインと通信可能である必要があります。

ドメイン名：kyb.co.jp
- ・ カヤバは、インターネット回線事業者・ISP の都合によりシステム利用に支障が発生した場合の責任は負わないものとします。
- ・ クライアント端末のネットワーク通信速度が低速な回線を利用した場合、本サービスの利用に支障をきたす場合があります。

注意事項：

- ※ 使用環境条件を満たさないことに起因して発生した不具合、障害、データ欠損等については、カヤバは責任を負わないものとします。
- ※ 本サービスにおけるパスワードについて、攻撃者にパスワードを推測されないように、容易に想像できる文字列等を使用しないことを推奨します。

2.3 利用上の禁止事項

本サービスの利用にあたり、以下の行為を行ってはならないものとします。

- ・ 油状態センサー、通信端末その他本サービスに用いる機器について、分解、改造、解析、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル等を行うこと。
- ・ 油状態センサー、通信端末その他本サービスに用いる機器、ソフトウェアまたはクラウド環境について、当社の許可なく、第三者へ貸与、譲渡、再販売、転用または提供すること。
- ・ 油状態センサー、通信端末その他本サービスに用いる機器を、本サービス以外の目的で使用するこ。
- ・ 本サービスの運用、解析、セキュリティに支障を与える行為、またはそのおそれのある行為。

3. サービス内容

3.1 サービス内容

本サービスは、油状態センサー値を基にサービス提供を行います。なお、オプションメニューの採油分析診断レポートサービスについては、油状態センサー値に加え、採油分析結果も含めてサービス提供を行います。

提供サービス	種別	内容
油状態センサー値の可視化アプリ、閾値判定アラート機能の提供	基本メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 油状態センサー値（パラメータ：比誘電率、導電率、油温）をグラフ表示する ・ パラメータが閾値を超えた場合、アラート通知をする
トレンド診断レポート、定期診断レポートの提供	基本メニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ トレンド診断レポート：異常時にレポートを提供する <ul style="list-style-type: none"> i. 閾値判定結果の分析による診断レポート ii. トレンド分析（カヤバによるパラメータ分析）による診断レポート ・ 定期レポート：異常の有無に拘わらず、定期的なレポートを提供する
採油分析診断レポートの提供	オプションメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採油分析診断レポート：トレンド診断に加えて、採油分析結果も含んだ診断レポートを提供する <p>※「採油分析」とは、監視対象機器の油を採油し専門機関で性状分析（全酸価、水分量、汚染度、金属元素、動粘度）を行うこと</p>

注意事項：

- ※ オプションメニューは追加費用が別途必要となります。詳細は販売店へお問い合わせください。

3.2 障害対応

- ・ カヤバは、本サービスにおいて、システムの障害を検知した場合、影響範囲および状況の確認を行い、本サービスの利用可否について、商業上合理的な範囲で契約者へ通知するよう努めます。
- ・ 本サービスに関するお問い合わせは、電子メールにて受け付けます。
- ・ お問い合わせへの対応は、カヤバ営業日の 10:00～17:00 の間に行います。
- ・ カヤバに帰属するプログラムまたはクラウド環境に起因する障害については、カヤバにて復旧対応を行います。ただし、復旧の完了時刻や内容について保証するものではありません。

- ・ 障害等によりデータが失われた場合、カヤバは原因の調査および復旧に努めますが、データの完全な復元を保証するものではありません。
- ・ 油状態センサー、通信端末等のハードウェアに起因する障害については、別途現地確認等の対応が必要となる場合があります。

3.3 可用性

- ・ カヤバは、本サービスの運用上の目安として可用性 99.5%程度を努力目標とします。
- ・ 可用性の算定には、計画メンテナンス、不可抗力（天災・大規模障害等）、利用者起因または外部要因による停止時間は含みません。
- ・ なお、本可用性は運用上の目安であり、特定の稼働率を保証するものではありません。

3.4 計画停止

- ・ カヤバがアプリケーションの更新が必要であると判断した場合、バージョンアップおよび、メンテナンスをカヤバ指定の時間で行います。予定されているバージョンアップおよび定期／緊急のメンテナンスについて、やむを得ない場合には事前にお客様に通知せずに実施する場合があります。

3.5 セキュリティ

- ・ カヤバは、本サービスにおいて、以下のセキュリティ対策の実施に努めるものとします。
 - システムへのアクセスは Amazon Web Services (AWS) の認証により制御されています。
 - SSL 証明書により通信データが暗号化されています。
 - データベースの保存データは暗号化されています。
 - アプリケーションは脆弱性診断を行っております。
- ・ カヤバは、本サービスに関してセキュリティ上の欠陥が存在しないことについて、保証するものではありません。

4. サポート

4.1 サポートデスク対応内容

- ・ 本サービスに関するお問い合わせは、電子メールにて受け付けます。サポートデスクのメールアドレスは web アプリのログインページに記載しております。
- ・ 本サービスにて提供するサポート・資料は全て日本語での提供とします。
- ・ お問い合わせには商業上合理的な範囲で問題解決が出来るよう努めますが、全ての問題解決を保証するものではありません。

4.2 サポートデスクへのお問い合わせ必要情報

- ・ お問い合わせされる際には、以下の情報をお伝えください。
 - 企業名
 - 契約名（申込書に記載）
 - メールアドレス

4.3 サポートデスク対応時間

- ・ お問い合わせ内容の確認及び回答は、カヤバ営業日の 10:00～17:00 の間に順次対応します。

改訂履歴

版数	発行年月	改定内容
1.0	2026/04/03	・新規作成

以上
2026年4月3日 現在